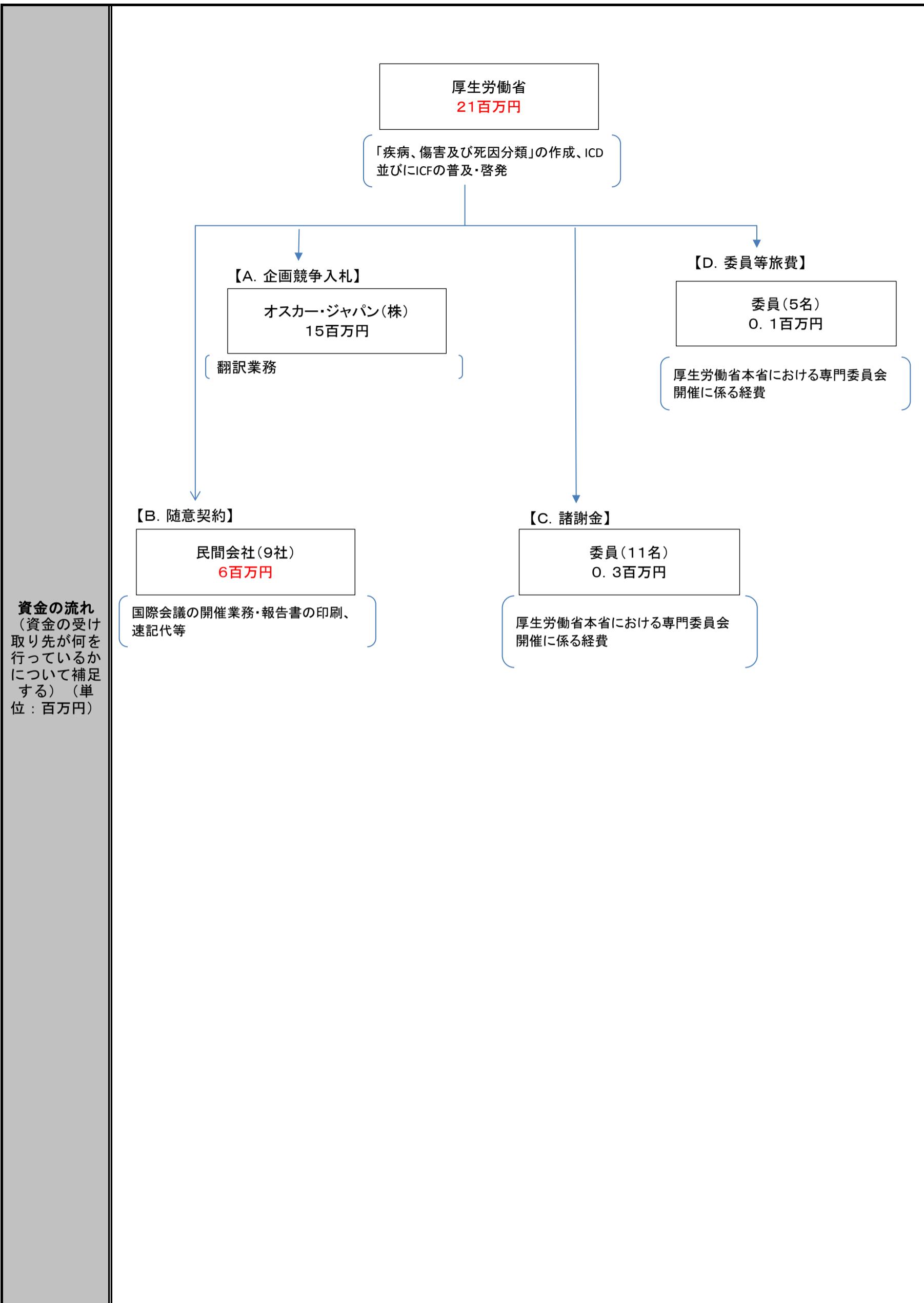


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	疾病死因分類適正化等調査費		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度		担当課室	企画課国際分類情報管理室		室長 谷 伸悦	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令(具体的な条項も記載)	統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第3条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1. WHOが勧告したICD(疾病及び関連保健問題の国際統計分類)の改訂・改正に関するWHO-FIC(世界保健機関国際統計分類群)ネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及。 2. WHOが勧告したICF(生活機能分類)の改訂・改正に関するWHO-FICネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及の検討。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	1. 社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」「生活機能分類専門委員会」の開催。 2. ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議の開催、WHO-FICネットワークへの意見提出及び同ネットワークの国際会議(電話会議を含む)出席。 3. ICD並びにICF普及啓発本の刊行。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	当初予算	18	23	21	37	53	
	補正予算						
	繰越し等						
	計	18	23	21	37	53	
	執行額	17	12	21			
執行率 (%)	94.4	52.2	102.9				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	この事業は、各種統計調査等に使用される国際統計分類の整備、普及を目的として実施するものであるため、成果目標を設定していない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	この事業は、各種統計調査等に使用される国際統計分類の整備、普及を目的として実施するものであるため、活動指標を設定していない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	3	2	資料翻訳費の増 電話会議経費の増			
	委員等旅費	0.8	0.8				
	印刷製本費	2	2				
	通信運搬費	0.5	0.5				
	会議費	0.06	0.06				
	借料及び損料	1	1				
	雑役務費	30	47				
	計	37	53				

事業所管部局による点検						
	評価	項目	評価に関する説明			
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	<input type="radio"/> 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	基幹統計である人口動態統計及び患者調査等に使用されており、ニーズは高い。				
	<input type="radio"/> 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国際機関等との調整が不可欠であり、国が実施すべき事業である。				
	- 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。					
目的・状況・予算の 資金の流れ、使途、費目・ 活動実績、成果実績	<input type="checkbox"/> 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については、会計法上認められている少額の随意契約である。				
	- 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。					
	- 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	<input type="radio"/> 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要最小限に限定されている。				
点検結果	<input type="radio"/> 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的を達成していることから、実効性は高いと考える。				
	- 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
	- 活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	- 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名					
	<input type="radio"/> 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	関係機関に配布され、十分に活用されている。				
今後も、ICD及びICFの改訂・改正に関して、国内外の機関との調整を通じ適切な意見提出を行っていくことで、国際的な寄与を果たしていくと共に、国内に向けて着実な普及活動を行っていく。また、各業務の実施にあたっては、今後も適正かつ効率的な予算の執行に努めるものとする。						
予算監視・効率化チームの所見						
現状通り	本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)						
現状通り	-					
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年行政事業レビュー	4	平成23年行政事業レビュー	4			



A.オスカージャパン(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	資料翻訳	15			
計		15	計		0
B.(株)アイ・アソシエート・ジャパン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	各種統計調査結果等の翻訳	0.9			
計		0.9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【企画競争入札】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オスカーニューフィルム(株)	資料翻訳	15	1	99.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間会社(9社)【随意契約】

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・アソシエート・ジャパン	各種統計調査結果等の翻訳	0.9	随意契約	
2	(株)ホンヤク社	海外文献等の翻訳	0.9	随意契約	
3	(株)サイマル・インターナショナル	内科TAG国際会議の同時通訳	0.9	随意契約	
4	統計印刷工業(株)	ICDのABC(平成24年度版)の印刷	0.9	随意契約	
5	国際連合大学	内科TAG国際会議の会議室	0.7	随意契約	
6	オスカーニューフィルム(株)	日本WHO-FIC協力センター会議の同時通訳	0.6	随意契約	
7	郵便事業株式会社	ICD解説書等発送費	0.4	随意契約	
8	大和総合印刷(株)	内科TAG国際会議の報告書、ICFシンポジウムの報告書 印刷	0.3	随意契約	
9	(株)東京国際フォーラム	日本WHO-FIC協力センター会議の会場	0.1	随意契約	
10	扶桑速記印刷(株)	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員会、企画書	0.08	随意契約	

C. 諸謝金

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
6	個人F	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
7	個人G	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
8	個人H	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		
9	個人I	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		
10	個人J	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		

D. 委員等旅費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.06		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.03		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.03		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.008		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.004		
6					
7					
8					
9					
10					